

浜松ハブCを移転・拡張

エブリー24 冷蔵ス・ペース3倍

食品のチルド物流に強みを持つダイセーエブリー二十四（本社・愛知県一宮市、田中孝昌社長）は手狭だった浜松ハブセンター（浜松市）を移転・拡張し、4月1日から業務を始める。冷蔵スペースを3倍に広げ、新たに冷凍庫を設置した。人員と車両も増やして営業体制を強化し、さらなる業務の拡大につなげる。

所在地は浜松市東区上石田町。東名高速道路浜松インターチェンジから5分。敷地面積は旧センター比4・2倍の1万660平方メートル。倉庫は鉄骨

造平屋建て、保管面積は1820平方メートル。このうち、冷蔵スペースは同3倍の1630平方メートル、新たに冷凍庫190平方メートル

も設けた。14台分の接車スペースを備える。投資額は14億円。

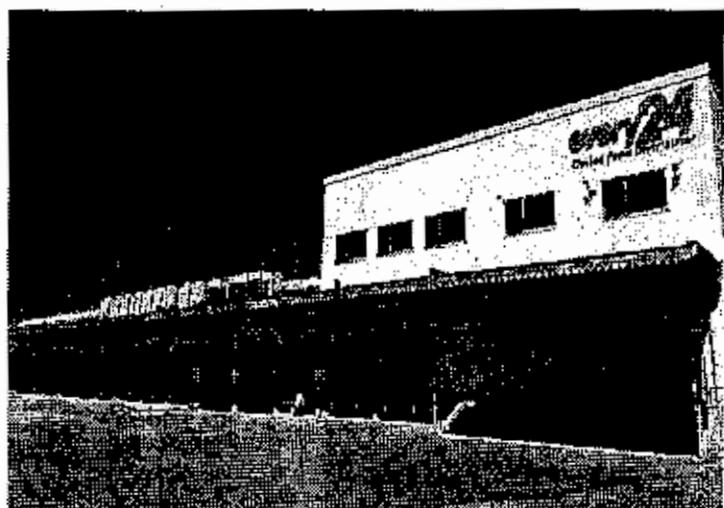
東西を結ぶ
中継機能も

施設拡張に伴い、人員数は同31人増の120人、車両台数は同3台増の36台と

目指す。

給油施設の併設に加え、BCP（事業継続計画）対策では冷蔵・冷凍設備を対象にした非常用発電機を設置。倉庫屋根に太陽光パネルを敷き発電も行う。併設する2階建て事務所棟には福利厚生設備として、救護室、男女別の更衣室、仮眠室の他、100平方メートルの休憩室も設けている。

同社は主に日配品を扱い、東名阪を中心とした主要エリアは幹線便で結び、各エリアで小売りのセンターなどに配送している。新センターは東日本、西日本をつなぐ中継拠点としても機能させる。



し、営業体制を強化する。旧センターの既存荷物を扱いながら新規を増やし、5月中の稼働率8割を

4月から営業を始める新浜松ハブセンター